

ぱーとなー

2009年7月

第91号

◎ 耳原総合病院の基本方針は「すべての方に24時間365日、質の高い医療を、地域と共に提供し続ける」ことです

耳原総合病院の理念

耳原総合病院はこんな医療をめざしています

○ 安全・安心・信頼の医療

私たちは患者様とともに力を合わせて医療をすすめます

○ 無差別平等の医療

私たちは人権を尊重した医療をすすめます

○ 患者負担の少ない医療

私たちは室料差額はいただきません

○ 地域とともに歩む専門職の育成

人権感覚をもつ専門職を養成します

暑中お見舞い申し上げます



猛暑の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

今後ともご指導賜りますようよろしくお願い致します。

院長 松本 久

緩和ケア講演会開催 6/28



金城学院学院長・大学長
淀川キリスト教病院名誉ホスピス長
柏木哲夫先生

去る6月28日(日)、堺市民会館にて、「一般の方を含め多くの方に、緩和ケア医療や終末期医療についてや、当院の緩和ケア病棟のことを知っていただく」ことを目的に緩和ケア講演会を開催。250名を超えるご参加をいただきました。

開催日2ヶ月前の4月頃より『新型インフルエンザ』が世界的な広がりをみせ、一時は開催も危ぶまれましたが、無事開催することができました。

記念講演では、淀川キリスト教病院名誉ホスピス長の柏木哲夫先生により、「緩和ケアが目指すもの」と題して、緩和ケアの目的は痛みの緩和はもちろんのことではあるが、いかに

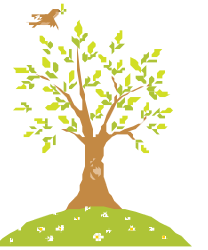
終末期における親切なおもてなしが重要であるか、そのなかでユーモアの持つ力がいかに大きいのか、また、患者様との上手な距離のとりかたなどお話いただきました。

医療従事者はもちろん、それ以外のみなさまからも「ホスピスの重要性をあらためて感じた」「つらく悲しい事ばかりでなく、家族も含めて笑顔で寄り添える看護が必要だと感じた」など多数感想が寄せられました。



心に響くボランティアさんによるゴスペル

緩和ケア講演会の報告にあたり、当院における緩和ケア病棟の現状と今後の課題について、緩和ケア病棟医長の中村三千人医師より報告致します。



当院における緩和ケア病棟の課題



緩和ケア病棟医長
中村 三千人

● 2002年12月28日開設

当院の緩和ケア病棟は2002年12月28日開設されました。がんの終末期を専門的に扱う病棟として多くのボランティアさんとともにチーム医療を展開してきましたが、この6年の間に緩和ケアに求められる医療が大きく変わり、現在は今後の病棟のありかを模索しているという状況です。

● 2007年施行がん対策基本法のもとで

2007年に施行されたがん対策基本法では、緩和ケア病棟の要件から終末期という文言が消え、緩和ケアはがん診断の早い時期より提供されるべきものとされました。さらに、在宅医療への24時間対応や地域での緩和ケア教育が求められています。しかし、ほとんどの緩和ケア病棟では、準備不足のなか、マンパワー不足も加わって十分な対応が成されていないのが現状のようです。当院でも同様の状況ではありますが、これは本当に大きな課題ととらえています。

● 大きな変革期にある緩和ケア

またがん拠点病院に緩和ケアチームの設置が義務づけられ、症状コントロールは(病院で)緩和ケアチームが、終末期は在宅でという流れが作られつつあるように思われますが、この点でも緩和ケア病棟が地域でどういうスタンスであるべきかが問われているように思います。このように、大きな変革期(?)にある緩和ケアですが、皆様からの貴重なご意見をいただければ、これほど心強いものではありません。すぐに入院できない、面談までに時間がかかりすぎる等々、怨嗟の声が聞こえてきそうですが、どんなご意見でも結構ですので、なにとぞよろしくお願い致します。

耳原総合病院地域医療室
電話 072-241-0324
Fax ①072-241-0208
Fax ②072-241-0670

☆☆☆お電話で患者さまのご都合に合わせて予約いただけます。

折り返しFAXにて予約票をお送りします。☆☆☆

☆☆☆事前にカルテを準備してお待ちします。

カルテ作成に必要な情報をFAXして下さい。☆☆☆

☆☆☆予約当日、患者さまが受診の際

① 保険証②診療情報提供書③上記予約票をご持参下さい。☆☆☆

～緩和ケア病棟の設備～

個室 : 13室
(洋室11室・和室2室)
2床室 : 3室
4床室 : 1室
デイルーム・家族室・浴室・
家族リフト等

※ 差額ベッド料は不要です
※ 病状に応じて、ご相談の上、病室を変更させていただく場合があります。